

研究名：当院における直腸肛門奇形術後の患者における粘膜脱症例の研究

1. 研究の目的

直腸肛門奇形の術後に認められる直腸粘膜脱は、便汚染や出血や疼痛を伴い患者さんのQOLの低下をきたします。

合併症として比較的高頻度で認めますが、その治療方法や時期、治療成績に関しては報告がまだ少ないため、どういった術式において直腸粘膜脱が発生しているか、どのような治療が選択されているか、当センターにおける診療内容を検討します。

2. 研究の方法

- ① 研究対象：当センターにて 2013年1月～2024年8月までに直腸肛門奇形と診断された方
- ② 研究期間：倫理審査委員会承認後～ 2026年3月
- ③ 研究方法：診療録を用いて後方視的に検討します。

3. 研究に用いる情報の種類

年齢・性別・身長体重などの背景、病歴、検査結果、根治術の内容や時期、合併症の有無、粘膜脱の治療内容や時期 等

※ 患者さんの氏名など、本人を特定出来る一切の個人情報は調査対象ではなく、個人情報は保守されます。

4. 情報の公表

研究内容は学会発表や学術論文の形で公表する予定です。

5. 研究実施機関

国立成育医療研究センター

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

○照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立成育医療研究センター 小児外科 廣川朋矢（担当者氏名）

住所：〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1

電話：03-3416-0181（内線：7068）

○研究責任者：

国立成育医療研究センター 小児外科 廣川朋矢（責任者氏名）